

## 大会宣言文

我が国では、グローバル化、情報化、少子高齢化など社会構造が大きく変化し、先を見通すことが難しい時代と言われています。また、公職選挙法が改正され選挙権年齢が18才以上に引き下げられたことにともない、高校生が有権者として求められる力を身に付けるための教育が進められ、社会参画意識を向上させることが重要となっています。

今、これからの時代を生きる子どもたちに必要な資質や能力、課題解決力を、十分に伸ばす高校教育が必要とされています。

一方で、東日本大震災、熊本地震など、度重なる自然災害の中で被災者を支える全国各地の高校生の活躍が人々に勇気を与え復興を助ける力となったことは、他者との「つながり」の中で主体的に考え行動する高校生の頼もしさを感じさせてくれました。ICT\*や人工知能がどんなに発達しようとも、最後まで人間が優位性を保つ資質・能力があることを信じられる、つらいことの多い中での心温まる出来事でした。

これからの社会を支えていく子どもたちを取り巻く現在の社会状況は決して明るいとは言えませんが、一人ひとりが豊かな人生を実現し個人の可能性を最大限に引き出すことが社会を支えていくために不可欠です。夢に向かって一生懸命努力できるよう、子どもたち、若者たちの挑戦を温かく応援する社会の実現こそ、PTAの果たすべき役割といえるでしょう。

このような状況の中、「心ふれあう しなやかな 人づくり ～学び行動するPTA～」をメインテーマとして、関東地区の高等学校PTA会員4,000有余名が、ここ国際都市、神奈川・横浜の地に集い、ともに「心ふれあう しなやかな 人づくり」について学び考え、研究協議を重ね、行動することは、大変意義深いものがあります。

ここにこの大会の趣旨を踏まえ、健全でたくましい心身と優れた知性を持ち、創造性に富み国際感覚豊かな青少年の育成を目指して、会員一同学び行動することを誓い、しなやかにそして強く生涯を生き抜いていく人づくりに貢献することを宣言します。

- 一 多様性を尊重し、個性や能力を伸ばす質の高い教育について学び、推進を支援する。
- 一 社会的・職業的な自立をめざす自分づくりの取組について学び、社会に貢献できる青少年の育成を支援する。
- 一 人を思いやることができる豊かな人間性や、多様な社会への理解力をはぐくむため、青少年を取り巻くより良い環境づくりを学び、環境の健全化を推進する。
- 一 家庭の絆や家庭での安心感を基盤とした人づくり推進ネットワークのあり方を学び、しなやかな人づくりを推進する。
- 一 これからの社会を生き抜くためのコミュニケーション能力とは何かを学び、心ふれあう人づくりを推進する。
- 一 自己肯定感とは何かを学び、子どもたちのやる気の育成を支援する。

※ ICT（情報通信技術）